



フキのしるは、^{むし}虫さされに^{ほんとう}本当にきくの

^{くすり}薬として^{つか}使われる^{くさ}草や^き木は「^{やくようしょくぶつ}薬用植物」

けがや^{びょうき}病気のときに、^{くすり}薬として^{つか}使われる^{くさ}草や^き木を、「^{やくようしょくぶつ}薬用植物」といい、^{むかし}昔からいろいろな^{くさ}草木が、^{くすり}薬として使われてきました。しかし、フキのしるは、^{ざんねん}残念ながら、^{むし}虫さされの^{くすり}薬としては、^{つか}使われていなかったようです。

ただし、フキノトウやフキの^は葉には、^{くすり}薬になる^{せいぶん}成分が^{ふく}ふくまれており、「^{やくようしょくぶつ}薬用植物」として、^{つか}使われています。

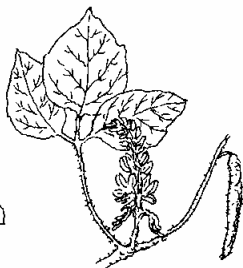
フキノトウには、クエルセチン・ケンフェロール・^{にが}苦み^{しつ}質・^{せいゆ}精油・^{とう}ぶどう糖・^{あんげりか}アンゲリカ^{さん}酸などが^{ふく}ふくまれており、^{しょうか}消化を^{たす}助ける、^{しょくよく}食欲を^{ぞうしん}増進させる、^{たん}たんを^き切る、^{せき}せきを^と止めるなどのはたらきがあります。また、フキの^は葉には、^{にが}苦み^{はいとうたい}配糖体・^{えき}ねん液・^{さぽニン}サポニン・^{タンニン}タンニン・^{コリン}コリン・^{しゅせきさん}酒石酸などが^{ふく}ふくまれており、フキノトウと、^{おな}同じようなはたらきを^ししますし、^き切り傷や^{きず}すり傷には、^{ちど}血止めの^{ため}のために、^は葉を^ももんで^{つけ}つけたりも^しします。

^{むし}虫さされに^{つか}使われる「^{やくようしょくぶつ}薬用植物」

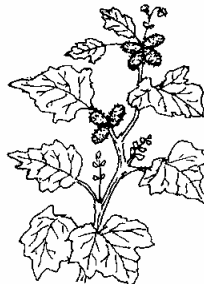
^{むし}虫さされに^{つか}使われる「^{やくようしょくぶつ}薬用植物」としては、アサガオ、^{くズ}クズ（^{どくむし}毒虫）、オナモミ・^{サンショウ}サンショウ（^{ハチ}ハチ）などがあります。（監修・青木 国夫）



アサガオ



くズ



オナモミ



サンショウ

